

「親子でチャレンジ2023」



11月11日(土)

県内在住の小学生とその保護者を対象とした主催事業「親子でチャレンジ2023」に9家族26名の参加がありました。



開講式の後、昼食場所の権現平まで、「森の色合わせ」カードを使って自然の中にある様々な色を見つけながら目的地を目指します。秋の色づいた里山の中、様々な色があることに気づきながらたくさん色を見つけることができました。屋外で食べるおにぎり弁当も格別でした。



所に戻ってきた後は夜のキャンプファイヤーの準備です。子どもたちに協力してもらって丸太を積んでいきます。夜の活動への期待も高まっています。



続いては火起こし体験です。まいきり式と言われる火起こしの道具を使って火種を作っていきます。ここで起こした火をこの後の夕食やキャンプファイヤーでも使っていきます。皆さん夢中になって火起こしに取り組んでいました。



火起こし体験の後は夕食作りです。家族毎にピザ生地をこねてピザを作りました。



ダッチオーブンで焼き上げて完成です。自分で作ったピザの味は格別ようで、普段食の細い児童も残さず全て食べていて保護者の方も驚いていました。



夕食後はキャンプファイヤーです。日本レクリエーション協会の中條氏、友の会の相田氏のもと、ゲームをしながら火を囲み、素敵な時間を過ごしました。



11月12日(日)
2日目はたき火活動です。枯れ枝をかまどに集めて火を付けていきます。空気が通らないと火が途中で消えてしまうので枯れ枝を詰めすぎないようにしながら準備をしていきます。かまどの作り方の説明を聞いてから活動スタートです。



準備ができれば家族毎にかまどに火を付けていきます。火が大きくなりすぎないように少しずつ枯れ枝を足しながら、火力の安定した熾火(おきび)を作っていきます。



熾火ができた家族からぬれたキッチンペーパーでサツマイモを包み、アルミホイルで巻いて熾火の中に入れていきます。焼き芋が焼けるまでの時間は熾火を利用して串で刺したマシュマロをあぶったり、空き缶でポップコーンを作ったり家族毎に楽しい時間を過ごしました。



2日間一緒に活動を共にし、子どもたちも交流を深めたようです。たき火活動の合間にも子どもたち同士でルールを決め、ゲームをしていました。



焼き芋もほくほくおいしく焼けました。たき火で焼いたサツマイモは格別です。



がんばって色々なことにチャレンジした子どもたちに芳賀青年の家特製メダルのプレゼントです。参加者の皆さん、2日間お疲れ様でした。